

第5回 海老名市保護者負担経費検討委員会概要

日 時：平成30年3月27日（火）

15：30～17：25

会 場：えびなこどもセンター 201 会議室

出席者：【委員】

岡田委員長、秋山副委員長、市川委員、中村委員、瀧井委員、
吉崎委員、塩見委員、飛矢崎委員、宮原委員、竹島委員、金指委員、
奥泉委員

【教育委員会】

伊藤教育長、別府就学支援課副主幹、山本就学支援課係長、
大乘就学支援課主事

- 1 開会 委員長
- 2 挨拶 教育長
- 3 議題

(1) 中学校制服・ジャージ等に関する保護者負担軽減策について

【事務局にて概要等説明】

- ・市教委にて、仕様書の作成と制服等の販売店や価格のホームページで公開を行う。
- ・制服とジャージの議論をするうえで、前提としてはデザインの変更は行わない（変更を禁止するものではなく市教委としてデザインの変更を指示することはしない。）

○制服・ジャージについて

- ・コンペ実施、取扱店、販売店の拡大を案とし、実施の際の流れやメリット、デメリットについて説明

○運動用 T シャツ・短パン・Y シャツ・ポロシャツについて

- ・仕様を定めた上での自由化が望ましい旨の説明

○上履き（兼体育館履き）

- ・一定の機能性の確保及び家庭の経済状況による格差を配慮し、各校ごとで統一のもの使用が望ましく、さらにコンペ実施による決定が望ましい旨の説明

【意見等】

○前提について

- ・仕様書等について、ホームページで公開することは保護者にとっても分かりやすくいいと思う。
- ・価格を下げるなら、制服は紺のブレザーで、スカートも自由（仕様を

定めた上で) でいいと思う。

○Tシャツ、Yシャツ、ポロシャツについて

- ・柏ケ谷中学校は今年変更があり、紺のTシャツとなっている。白Tシャツと紺Tシャツが混在しているのか。
→白Tシャツは全校でということではなく、各校で色も基本仕様として定めることと想定している。(事務局)
- ・今泉中学校は水色となっている。
- ・海老名中学校のこれまでの経緯は、指定ポロシャツから丸首Tシャツを許可し、現在の白Tシャツ(ワンポイントのみ可)となっている。
- ・各校でTシャツ、Yシャツ、ポロシャツの仕様を定めて自由化したら在庫を抱える店が増えてしまう。
- ・Tシャツ、Yシャツ、ポロシャツについて、ご議論いただいたが、この提言でいいか。(岡田委員長)
→一同、同意。

○上履き(兼体育館履き)について

- ・上履きは子どもの安全のために一定金額になってしまう。安いものは滑ったり、機能的でなかったりする。
- ・現状の指定の上履きと基本仕様に沿った上履きの併用案はどうか。
- ・安全面からも今の上履きがいいと思う。中学校では動きが激しくなり、球技、器械体操と様々な動きをする。
- ・現状のもので価格、機能性も満足できる。
- ・6校で同じものを使用しているのか。
→同じものを使用している。(事務局)
- ・各校とも上履き兼体育館履きになっているのか。
→兼用となっている。(事務局)
- ・3年間もたせるには、体育だけ使うようにすればいい。普段の上履きは小学校みたいなもので。
- ・うちの子は履き替えは嫌がるかも。分けたい子は分けてもいいように選択制にしてもいいかも。
- ・高校ではなんで分けているのだろう。機能性の問題か、砂で体育館が傷つかないようにか。
- ・指定があってもいい。ただし、各校で考え方の整理が必要であると思う。
- ・上履きについて、ご議論いただいたが、この提言でいいか。

(岡田委員長)

→一同、同意。

○ジャージについて

- ・案にあるように、コンペと販売店等の拡大はどちらがいいかご議論い

ただきたい。(岡田委員長)

- ・現状は1社による独占状態である。業者間で競争させた場合にどのくらいになるかやってみたい。2社は参加してくると思う。
- ・保護者はジャージをどこで買うのか。
→現状では、制服の販売店で購入または業者が学校に来て販売している。(事務局)
- ・参加する業者の目星があるならやってもいいと思う。
- ・ジャージの色は学年で分かれている学校が多いが、同じでもいいのではないか。
- ・コンペの実施が望ましいということによろしいか。やる価値があると思う。(岡田委員長)
→一同、同意。

○制服について

- ・案2がいいと思う。海老名中学校は1学年で185名程度しかいない。自由参入を促した方がいい。海老名中学校は現状では2社が取り扱っているが、再来年度からは3社になる予定。(飛矢崎委員)
- ・一度、各校の制服を見てみたい。学区の中学校はよく見るがそれ以外はあまり印象にない。
→全中学校の制服をまとめたものを郵送する。(岡田委員長)
- ・制服については、案2の販売店、取扱店の拡大が望ましいという方向性によろしいか。(岡田委員長)
→一同、同意。
- ・実現に向けて、事務局で整理し、まとめること。(岡田委員長)

(2) 修学旅行の現状と保護者負担軽減策について

【事務局にて概要等説明】

- ・市内中学校の行先、金額、決定のプロセス、昨年8月に実施した保護者アンケートの修学旅行に関する意見を紹介

【意見等】

- ・民泊はどの程度の学校で実施しているのか。
→平成29年度は海老名中学校以外は民泊となっている。その他の年度は民泊の学校が多いと思うが、確認はしていない。(事務局)
- ・小学校ではどのようになっているか。
→中学校のように1年生から3年生まで同じ先生が担任を持つことはなく、概ね2年で変わる。世界遺産や歴史を学んでいる。ただ、今は外国人観光客の増加で、一度、行先を日光から変更すると戻れない。
→前年度に行った時点で、次年度の仮予約をしている現状がある。そのくらいでないと宿が確保できない。

- ・ 中学校は3年間の学習となっている。柏ヶ谷中学校は歴史をテーマに1、2年で学習を深め、その集大成として広島に行っている。海老名中学校はテーマは体験となっており、京都から自分たち（班）で奈良まで向かう。ふれあいなら、民泊を取り入れている。
- ・ 小学校は全校で日光に行っている。費用の面では、30人学級と40人学級でバス代が大きく変わってしまう。同じ内容でもトータル金額を30人で割るのと、40人で割るのでは一人あたりの負担も変わってくる。EX) 同じ120人でも、1クラス30人では、バス4台、40人では3台となる。
- ・ 13校で一括発注すれば安くなるのでは。
→入札自体は可能かと思う。
- ・ 小学校ではバス代の負担が大きい。5年の野外教育活動の費用を全額市費で賄っているが、それを5年の野外教育活動のバス代と6年の修学旅行のバス代に振り分けて修学旅行の負担を減らしたい。野外教育活動はベースは各校とも同じだが、オプションが異なっている。
- ・ 東山荘（野外教育活動の宿泊施設）は13校まとめたことで宿泊費が下がった実績がある。日光も可能だとは思う。
- ・ 横浜市では教育委員会が1つのホテルを一定期間借り上げ、各校へ割り振っている。
- ・ ロットが増えれば、スケールメリットが生まれる。
- ・ 狙いがしっかりしていれば金額の多少の差はいいかなと思う。宿やバスが確保できずに修学旅行自体に行けなくなってしまうことが一番よくない。
- ・ 小学校はまとめることで価格が下がるならば、実施してもいいかと思う。中学校は海老名中学校だけがホテルなのは、他校からするとうらやましい。
- ・ 保護者が狙いを理解していないから不満が出るのでは。
- ・ 民泊の不安は保護者が民泊をよく理解していないからではないか。保護者世代は自分たちが経験した、団体での修学旅行が安心できる面もある。
- ・ 狙い等の丁寧な説明が必要。現状では足りていないのかもしれない。
- ・ 民泊は体験型になるのかな。京都・奈良は観光地であるが併合型（体験+観光）もできる。青森は体験型になると思う。
- ・ 民泊は受け入れ先によって差が出てしまう。
- ・ 今は情報としては、市内のものしかないので、他市の状況（予算・目的・行先）を事務局で調査してほしい。（岡田委員長）
- ・ 保護者、生徒の参画が必要なかもしれない。決定後には保護者に対して十分な説明が必要。（岡田委員長）
- ・ 修学旅行の軽減策について、事務局で素案を考え、次回の検討会で議論

していきたい。(岡田委員長)

(3) 今後の予定

・第6回検討委員会

5月22日(火) 15:30～ えびなこどもセンター201会議室

4 その他

- ・今年度は今回が最終となるが、次回以降も継続してもらえるようにご配慮いただきたい。(岡田委員長)

5 閉会 秋山副委員長